

質問5. 所属する学会について〈複数回答可〉（その他）

回答者 番号	その他記述
※	日本RNA学会、日本動物学会
※	日本薬学会
※	日本細菌学会
※	日本がん分子標的治療学会
※	日本植物バイオテクノロジー学会
※	日本臨床衛生検査技師会
※	日本動物学会
※	日本動態学会
※	日本顕微鏡学会、日本受精着床学会
※	日本ウイルス学会
※	日本薬学会
※	日本進化学会
※	日本RNA学会
※	実験動物学会
※	日本体力医学会
※	日本育種学会、植物バイオテクノロジー学会
※	RNA学会
※	日本生物工学会
※	RNA学会NMR学会
※	生物工学会
※	日本腎臓学会
※	日本薬物動態学会日本薬学会
※	日本糖質学会
※	日本動物学会
※	日本薬学会
※	日本染色体学会
※	日本生物工学会
※	獣医内科学会
※	日本法医学会
※	進化学会、植物学会、生態学会

質問6-4. オンライン先行開催期間のシンポジウムについて<複数回答可> (適切でないと感じる点)

回答者 番号	適切でないと感じる点 記述
	記述なし

質問6-6. オンライン先行開催期間のシンポジウムについて〈複数回答可〉（その他）

回答者 番号	その他記述
※	オンラインのシンポジウムをオンサイトにすべきだったと感じる。そうでないならば、他のシンポジウムはハイブリッドにすべきだったと感じる。オンサイトは移動が多かったため、セッションごとの移動の際にオンラインで試聴したかった。なぜかオンラインだけオンデマンド配信があるし、謎であった。
※	参加しなかった
※	聞きたい演題が多く、全てまわりきれない。
※	先行開催を知らず、見逃してしまった。興味のある先生の発表も多く含まれていたので残念だった。できればオンサイトのシンポジウムとして開催して欲しかった。
※	音声で質問できるシステムもあると嬉しかったです

質問7-2. 公募シンポジウムについて〈複数回答可〉（適切でないと感じる点）

回答者 番号	適切でないと感じる点 記述
※	海外招待をもう少し増やしてほしいです。また、口頭発表の発表者が全て事前に定まっているようなシンポジウムは分けて募集してほしいです。
※	シンポジウムが多すぎると感じました

質問7-10. 公募シンポジウムについて〈複数回答可〉（その他）

回答者 番号	その他記述
※	全体的に座席が足りていなかった印象だった。
※	質問時間を伸ばしてほしい。
※	若手ばかりの発表で重鎮の方々の発表数が少なかったので増やして欲しいです。
※	会場が狭くてあふれているところが多かったのが残念だった。外で聞けたのはいいが、質問にも行きづらいし、見づらいしで、もう少し広い会場でやってほしかった。テーマのばらつきは去年より多くて良かったと思う。
※	会場の割り振りに関してメインセッションの内容的がどれも非常に魅力的だったが、会場のスペースが足りていないセッションが多数あったことが残念だった。
※	会場が狭く立ち見をせざるを得なかったり、サテライトモニターでさえ満足に見られないシンポジウムが多数あった。また、スクリーンの表示位置が非常に低く、会場の前方に座っていても発表資料が見られない場合もあった。不適切な会場であるか、設営に不備があると思えない。オンライン同時視聴可能にすることで解決できる部分があると思う。
※	オンサイトのシンポジウム開催時間を9:00、18:00のようにしてくれるとありがたいかった。朝早い時間や夕方以降だと実験が落ち着いていて参加しやすいため。
※	日毎に分野や内容がバラけていて被らないと良いと感じた。分子進化系のシンポジウムが最終日に集中しており、時間が被っていたために参加できないものも多かった。
※	シンポジウムのテーマがそれぞれ具体的すぎて、自身が応募したいと思う、もしくは応募して採用されそうなシンポジウムがなかった。その割に同じような題名のシンポジウムが複数あるなあと思ったりした。
※	シンポジウムの会場によっては参加者の収容人数が足りておらず、聴講できないことが多かった。また、会場間の距離がかなり離れており、他のシンポジウムに移動することがほとんど不可能だった。

質問8. 一般演題(ポスター発表)全般について<複数回答可> (その他)

回答者番号	その他記述
※	ポスターの数が多く、複数会場制であったことから、時間内に全ての会場を回ることは難しかった。
※	サイエンスピッチとポスターの時間は重ねないで欲しいと思ったサイエンスピッチで発表している時間に聞きに行きたいポスターの時間が重なり、見ることが出来なかったことや、ポスターを聞いている時にサイエンスピッチの音声で説明の音が聞き取りづらいことがあったため、ずらしてもらいたいと思った
※	サイエンスピッチという若手が口頭で発表する機会が得られることはとても良いと思うが、その分発表者が他のポスターを見られないのは問題だと思う。また、同じ時間帯に類似した発表が存在し、その日のポスターを回れない点が問題だと感じる。
※	高校生の発表とみたいポスターが被ってしまい、どちらかを諦めなければいけなかった。
※	ポスターの演題数とコアタイムの発表時間が見合っていない。発表時間が短すぎて、話したい演者と話せなかった
※	サイエンスピッチの時間がポスター前半の時間に被っていたことは大変残念に感じた。興味のある発表の一部を見に行くことができなかった。
※	サイエンスピッチと実際のポスター会場がとても離れていたりしてわかりにくくて不便だった。また、初めての参加だったので、こういうものかもしれませんが、周りの雑音が大きく、ポスター会場の雑音とサイエンスピッチの発表が重なっている点が集中力が途切れそうになり少し残念だった。
※	ポスター会場の距離が離れているのが不便だった。
※	It would be better if the poster are at least in English because there are soo many international students like me who wants to read properly to understand
※	サイエンスピッチの音が大きく、ポスターの発表が聞こえづらいことが多々あった。
※	サイエンスピッチの資料を映す画面が少し小さく感じた。後ろで立ち見をしている人も多くいたので、後ろの方からでも見えるくらいの大きさがあってもいいと思う。
※	サイエンスピッチで発表をしました。提出ファイルがパワポだったのですが、本番でモニターに映った時に図形の配置ズレが発生し、自分が思った通りのパワポイントで発表できませんでした。他の発表者についても同じような例が散見されましたので、次からは提出をPDFにすればいいのではないかと思います。
※	ポスター発表で後半(偶数番号)に割り当てられていた知らない人が、知人を連れてきて大きな声で前半の途中から発表し始めた。時間ぐらい守ってもらいたい。
※	異なる会場で行われていたため、少し不便を感じた。
※	ポスター賞を設けてほしい
※	休憩時間が長いわりにサイエンスピッチとポスター発表の時間が被っていたので、時間をずらしても良いのではないか。
※	致し方無いことかと思われますが、ポスター会場が3つに分かれたため、興味のあるポスター発表に十分参加できなかったのが悔やまれました。
※	サイエンスピッチの際に、発表者の声量に合わせてマイクの音量を変えるなど、細かい配慮が感じられた。
※	サイエンスピッチとポスターセッションの前半の枠が被っており、サイエンスピッチを聞いていると、ただでさえ短いポスター発表を聞ける時間がさらに短くなってしまいうのがよくないと思った。
※	サイエンスピッチの結果発表についてのアナウンスが不足していると感じた。前回みたいに当日発表もあるのか、後日のみなら大体いつ頃になりそうなのかわからなかった。
※	サイエンスピッチの優秀賞の結果は既に公開されていますか？
※	大体どの分野のポスターがどの辺に展示されるのかわかりやすいと嬉しかったです(それぞれ分野ごとに固まっているのは非常に嬉しいのですが、免疫系は会場が2つに分かれていてわかりにくかったり、ポスターのアブストを全て確認するのは大変なので実際全ての会場に足を運ばないとどこでどのような分野のポスターがあるのか大まかな傾向が掴みにくかった。知り合いときている人は情報共有できるので良いのですが、そうでない人は把握が大変そう。
※	サイエンスピッチの時間をポスターと分けて欲しい
※	ポスター会場が分かれていて見て回るのが大変だと感じた。
※	サイエンスピッチの受賞者発表は大会終了日、または、次の日には行ってほしいと思った。
※	ポスターの番号と会場がわかりにくいため、1会場の何番等の番号を振ってある方がわかりやすいと思った
※	サイエンスピッチ受賞者の発表方式や発表日を事前に公開してほしい。そして、少なくとも1週間以内には、受賞者を公表してほしい。
※	私のポスターセッションでは、日本からの参加者が私に声をかけてこないことに気づいたが、それは私が留学生であり、彼らと英語で話さなければならぬからかもしれない。留学生が最終日に予定されていれば、もっと多くの研究者と話したり、予定されているセッション中に彼らを招待したりするチャンスがあったでしょうから。
※	ポスター会場が複数に分かれていることで目当てのポスターを探すことが難しく感じた。また、目的のポスターがない状態でうろつくのも難しく感じた。サイエンスピッチとポスターセッションの時間が同時だったため、サイエンスピッチに発表者として参加した時、他のポスターを見ることが全くできないのがよくないと思う。また、サイエンスピッチの会場とポスターの会場が別の場合があり、ポスターの宣伝としてはよくないと思う。
※	2022年の年会(幕張)の時のように、ポスターとサイエンスピッチの時間が被らないスケジュールの方が良いと思う。今年のスケジュールだと、聞きたい発表を聞くには圧倒的に時間が足りない。

質問9. オンサイト会期中の各日のタイムテーブルについて〈複数回答可〉（その他）

回答者 番号	その他記述
※	サイエンスピッチの表彰は学会期間内に行って欲しい。発表者として盛り上がりにかけてしまう
※	chatGPTなどこれから良いツールが沢山でてくるので、英語発表で翻訳機能をつかっても良いと思う。(母国語でないと理解度が落ちるのは科学的に明らかだし、英語発表者の時だけ質問が少ないのも毎回気になるので、いっそのこと翻訳するのもありなのでは、という意見です)
※	一日にある発表の数が多すぎて見切れませんでした。できれば3日間ではなく4日間あるともう少し余裕もって見れたかなと思いました。
※	微生物系のシンポジウム(微生物ルネサンス、ネクスト微生物学 etc...)が最終日午後に重なっていたので1つしか参加できず残念だった。日程がずれていればいずれも参加したかった。
※	サイエンスピッチの時間がポスターセッションとかぶっていることが少し残念でした。自分もポスター発表があるので、奇数番のポスターを聴きに行く機会がなくて残念でした。
※	バランスが難しいとは思いますが、分野が似ているシンポジウムはなるべく別の時間に来るようにされるとさらに聞きやすい(聞きたいシンポジウムが同じ時間に集中しない)です。すでに考慮されているとも思うのですが。
※	サイエンスピッチに参加してしまうと、その時間のポスターが見れない
※	微生物系のシンポジウムが3日目に固まっている気がした。

質問10. フォーラムについて<複数回答可> (その他)

回答者 番号	その他記述
※	午後の微妙な時間の空き、どうにかならないか。また参加したいフォーラムが最終日の遅い時間で、日程の都合上参加できなかった。私は微生物学が専門ですが、微生物ルネッサンスとネオ微生物学が同じ時間帯だったので、ばらけてると嬉しい

質問11. 年会の発表言語について(本年会では、指定企画シンポジウム:英語、公募企画シンポジウム:オーガナイザーに一任)＜複数回答可＞(その他)

回答者 番号	その他記述
※	毎年思うことだが、海外からの招待演者がいない場合でも英語で発表議論するのは奇妙な光景だと思う。参加者のほとんどは日本人だし、日本語の方がより活発で深い議論になるはずと感じている。
※	発表者の英語のレベルが著しく低い場合があった。流石に発表のレベルとして適切ではないと感じたので、それなら日本語でも良いのでは?と思った
※	There were only a few English sessions in this conference. I have attended some Japanese sessions because the topics are closely related to my research field but I was not really able to understand all the talks. I have ended up attending only the English sessions throughout the conference.

質問13. 年会の参加登録/演題登録/要旨・プログラム検索/視聴サイトプラットフォーム一体型システム (AGRISMILE社ONLINECONF;オンライン講演セッションはZoomウェビナーで開催)や当日のトラブル対応などのオンラインサポート体制についてお聞きします<複数回答可> (その他)

回答者 番号	その他記述
※	視聴サイトプラットフォームについて、サイエンスピッチとポスターが同じように検索で見られる場合もあるので少し分かりづらかった。
※	ONLINE CONFのサイトがあるのは便利でしたが、検索機能が上手く働かず、関係のない発表が引っかかってくるのは不便に感じました。また、検索機能として、キーワードで検索できたり、発表要旨ページからそのシンポジウム全体のページに飛べたり、発表者のリンクがあったら便利だったと感じる場面がありました。また、発表にハートやいいねマークを押す機能がありましたが、使い分けが分からなかったのと、ハートマークが、個人的に見たい発表をブックマークできるボタンとして周りの人からは見えないと押しやすく便利だと感じました。最後に、推しガチャというネーミングセンスに違和感を感じました。
※	ログインを何度かする必要があったのが少し手間に感じた。
※	いいねボタンを押した演題を自分で確認できなかったことがあまり良くなかった。演題検索で関係ない演題がヒットしすぎた印象を受けた。(LARP4を検索したら4が入っている演題がヒットするなど)スマホ版のUIが微妙に見にくい点があった。会場やポスター番号をもう少しわかりやすくしてほしい。要旨pdfが全部同じ名前で保存されるのがわかりにくい。
※	地図とポスター発表の照らし合わせが難しかったです。
※	スマートフォンサイトにおいて、演題画面にその演題を含むシンポジウムへのリンクがあると便利だと感じた。(PCサイトではそのようなリンクがあった)
※	要旨検索のシステムはMBSJ2022の方が使い易いと感じた。また、MBSJ2019のようなアプリが欲しいと感じた。
※	ポスターの演題を検索した際に演題番号でそのまま検索しても検索件数が0になるなど、検索機能に改善の余地があると感じた。
※	検索できるのはよいが、今どのセッションで誰が話しているのか、スマホでは一目で分かりづらい。分厚くてもよいので、紙ベースでタイトル名前も見れる一覧表がほしい。
※	要旨やプログラムをネットでチェックでき、マイスケジュールを管理できたのがよかった。

質問20. 今後の年会における他学会との連携についてお聞きします（その他）

回答者 番号	その他記述
※	今回は合同開催なしでかなり人数が多く、目当ての発表会場がどこかわからず迷子になった。規模はこの程度を維持してほしい。
※	数年に一回程度会っても良いと思うが、日数が気になるころではある。
※	本年度が初めての参加なので、前年との比較はできないが、とてもたくさんの分野の研究者が集まっていると感じた。

質問21. 前問までの設問・回答に関連するコメントや、その他年会全般についてのご意見があればお書きください。ここが良かったので続けてほしい、あるいはここを工夫すればさらに良くなるといった改善案など、率直なコメントを広くお寄せくださるようお願いいたします。

回答者番号	意見記述
※	参加証が嵩む上に風に煽られやすく終始鬱陶しかった。また首にかける紐が長すぎるのか座った時の体勢で折れ曲がる事が多く、くの字型になっている参加証を掲げている人を大勢見た。その上、参加証が大きいことによるメリットをなんら感じなかった。
※	高校生のポスターが狭すぎるので、間隔を取るか前後半に分けるかした方がいいと思った。日本酒の規模が昨年より小さかった？楽しみにしていたが既に終わっていた。会場があっちこっちにあって、それぞれでどの発表があるのかととてもわかりにくかった。
※	Online Confのサイトは、PCやタブレットでは見やすかったが、スマートフォンからは少々見にくかった。できる限り揃えてもらえると嬉しいと思う(会場ではスマートフォンで見る機会が多かったため)。会場が分かれすぎていて、移動が大変だった。第45回大会のように、できる限り一つの会場にまとめられる開催形態を今後も模索していただけると参加者側としては大変嬉しく思う。
※	学会全体を通して大変勉強になり、また、このように大規模で多分野の発表を聴ける学会はあまりないため、今後も参加したいと思いました。
※	今年は「年会テーマソング」が無かったので淋しかった。(楽しそうに、生き生きとしているお偉い先生方を拝見するのは実に刺激的であり、次世代が研究者を目指すきっかけにもなるのではないかと思います。)今年の年会では、スタンプラリー企画の景品であった林年会長の缶バッジが素敵でした。(費用もそれ程かからないと思うので)毎年、年会長の缶バッジシリーズを作製して欲しいです。何はともあれ、私にとって分生の年会は毎年「参加してよかった！」と思える価値のある大会です。これからも会員であり続けたいと思っています。今年も大会運営の皆様ありがとうございました！！
※	第16会場は毎日立ち見の方が発生していて、会場のサイズが小さいように感じた。
※	一般演題から口頭発表を選択する際に、女性の演者が多くなるように選択するのは喜ばしいことだが、偏りが大きいように感じた(選択に偏りがあったように感じた)。
※	オンラインでプログラムを確認できることは良かったですが、お気に入りにした演題の筆者をジャンプしてすぐ検索する機能や演題があるセッション名の記載が欲しいと感じました。
※	サイエンスピッチの受賞者が、昨年度の際は最終日の午後4時頃には受賞者発表あったが、今年は現時点(12月12日(火)13時40分現在)で受賞者発表がなされていないため、当日審査なのであれば即座に受賞者を発表して欲しいです。
※	Poster Clinic by EMBO Pressで発表5分、質疑5分と事前に連絡があったにも関わらず、ほとんどの人が制限時間を守っておらず、審査員の方々も特に気にせずに進めていたのは問題があったと思います。制限時間が無いならば無いが良いのですが、それならばそのように書いておくべきだと思います。発表の場がなんとなく弛緩した空気にもなっていましたし、制限時間を考えて説明を絞った人の得るものが相対的に少なくなってしまうと思います。
※	企業ブースがたくさんあったことが良かったです。普段使用する機器だけでなく他社製品も見て回ることができたので、最新機器について見るのができたので良かったです。
※	昨年の年会にも参加したが、昨年と比較して残念に思った点が、会場が3つに分かれており、特に展示場が会議場・ホテルと離れていて会場間の移動が面倒くさい点シンポジウムの会場で席数が十分でないところがあり、外で立ち見をすることがあった点サイエンスピッチとポスターセッションの前半の枠が被っている点Meet my Hero、テーマソングやサイエンスピッチ優秀賞の発表がある閉会式、会期中ずっと試飲が可能な日本酒等の販売がなく、全体的にお祭り感が薄かった点などが挙げられる。1つめと2つめに関しては、幕張メッセのような巨大な会場を使える都市で開催するようになってもらいたいと思った。
※	ポスター発表で、失礼な態度をとる教員や、発表時間枠を超えても執拗に研究内容の説明を求める外国人学生への対応に苦労した。そのような方が出ないような工夫がほしい。ただ、総合的に見て本学会は大変よかった。
※	会場がどこも全体的に暑かった。
※	サイエンスピッチのブースが隣と近い、あるいはポスター会場と近く、周りの騒音が常に聞こえる状態であったため、発表する側としても聴講する側としてもやりづらさを感じた。
※	今年は、昨年よりも、要旨の閲覧などがしにくかったです。周りの友人たちも、検索機能が見つかりにくいと言っていましたし、私もそう思います。
※	最先端の研究を日本語で聞けることがとてもありがたいことだと感じました。多くの人と関われるいい機会になり、感謝します。
※	今回の参加章についてモデル生物として酵母が含まれなかったことが残念であった。
※	Poster Clinic by EMBO Pressについてお忙しい中、先生方にポスターをみていただける機会は貴重でありがたく、企画としては素晴らしいと思います。ただ、実際参加してみて、5分で成果を説明し、5分質疑応答という事前に案内されていたタイムスケジュールが全く守られていなかったことが気になりました。成果の説明だけで10分近く話している発表者も多く、質疑応答も時間を無視して行われていたので、トータルで15分を超える場合がほとんどで、20分を超えていた人もいました。せめて15分で切り上げることにして、発表者が長く話すぎた場合は質疑応答が短くなるなどにしてはどうでしょうか？5分で説明できるように準備をしていた人や、発表順が後半の人が気の毒に思いました。
※	発表賞がサイエンスピッチだけでなく口頭発表などにも設けられていると良いと思った。前述したが、サイエンスピッチとポスターの時間を被せない方が良い。発表賞があるのなら、閉会式等を行って会場で結果が発表されると良いと思った(幕張の時のように)。